

日常生活における手洗い方法の調査研究

須藤 敦紀

手洗いにはウイルスや細菌による感染を防ぐ効果が認められている一方で、実際にどのように手を洗えばよいか一般の人に周知されてはいない現状がある。そこで本研究では、日常生活における手洗い方法についての具体的な手の洗い方と説明方法を調査し、適切な手洗いを周知するための課題を明らかにすることを目的とした。

はじめに、一般の人が知ることの出来る日常生活における手洗い方法（以下、「日常生活の手洗い」方法）を Web サイト・新聞記事・一般施設の掲示物から収集し、手の洗い方・説明方法・根拠を抽出した。次に、衛生的手洗いの方法である「学校給食調理現場における手洗いマニュアル」の「標準的な手洗いマニュアル」をもとにして、準備・水洗い・石けん・洗浄・洗い流し・乾燥に関する 19 の項目からなる「日常生活の手洗い」の調査項目を作成した。この調査項目に基づいて、収集した「日常生活の手洗い」方法を調査した。

「日常生活の手洗い」方法は Web サイトから 23 件、新聞記事から 17 件、一般施設の掲示物から 6 件の合計 46 件を収集した。集めた 46 件の中で、テキストとイラストの併用が 25 件、テキストと写真の併用が 12 件であった。テキストにイラストや写真を加えた説明や、実際に手を洗っている映像の使用、子ども達が覚えやすいように歌を作って動画で手の洗い方を紹介するなど、多様な説明方法があり、わかりやすく伝えるための工夫がみられた。一般施設から集めた掲示物のうち 5 件は、作成機関が「ヨシダ製薬」「茨城県保健予防課」「日本ビルファンド」「スシロー」であることが分かったが、「日常生活の手洗い方法」を作成するために使用した根拠は明示されていなかった。

具体的な手の洗い方については、46 件中 38 件に「手のひら」「手の甲」「指の間」「親指」「指先・爪」「手首」の 6 つの部位の洗浄について記述されていた。しかし「肘」の洗浄については 1 件、「手の傷」については 2 件にしか記述されていなかった。また、「洗浄の時間」については 26 件に記述が確認できたものの、「水洗いの時間」については 5 件、「洗い流しの時間」については 6 件にしか記述が確認できなかった。作成した調査項目には含まなかったが、すべての指を一本ずつ洗うこと、つけ爪を外すこと、蛇口に水をかけて一緒に洗うこと、乾燥後はハンドクリームを塗ることなど、より詳しく説明されているものもあった。

本研究により、本来目的や状況によって適切に使い分けるべき日常手洗いと衛生的手洗いが区別されることなく扱われていることがわかった。手洗いの目的や具体的な手洗い方法をわかりやすい文章により記述し、詳細を確認することができる根拠を記載した資料を、web サイトに掲載したりポスターとして洗面所等に掲示することにより日常生活の中で適切な手洗いを周知すれば、ウイルスや細菌による感染を防ぐことが期待できる。

(指導教員 岩澤まり子)